

<p><タイプ1></p> <ul style="list-style-type: none"> ・将棋の人の名言に、とても感動した。 ・多くの事に興味を持つことも大切だが、一つの事に集中することも、また大切なことだと思う。 ・ルーズベルトの「できるか？と聞かれたら、できる。」と答える。答えてから考えればよい。」が印象に残った。確かにアメリカの映画やドラマは「できるか？」と聞かれて何でも「できる。」と答えて大変な目に合っているイメージがある。 ・牧野富太郎のように極めたいことを見つけて、トップの人間になりたいと感じた。 ・ジャンルは問わず、何か一つの事を続けて努力して極めることで、世の中で認められる人に近づくと感じた。偉人の多くは、継続することが大切と感じていると感じた。少しずつ感じることが出来る成長することの喜びが継続することのできる秘訣なのだと思う。 	<p><タイプ3></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市川房江のスピーチが印象に残った。これから平和な時代を作っていくためには私達自身が意志を持って政治に参加しなければならない。選挙に参加しようと思う。 ・何事も段取り、早め早めに動いていくことが、自分の時間につながっていく。棋士の名言面白かった。学歴が無い人が、達人に結構いる。外からの情報で、自分の感性を歪められないようにすることが、成功への道なのかもしれない。 ・牧野富太郎さんの「力が姿たとえ翁と見ゆるとも、心はいつも花の真盛。」「わしは植物の精だよ」こう言えるほど何かを追求したいと思った。 ・一人ひとりの言っていることがとても奥が深いと思った。 ・継続は力なりとはいうが、原敬は19歳から死ぬまで、毎日日記を書き続けたという話がとても印象深かった。 ・市川さんは女性なのに、議員の仕事をこなし、男女差別の問題を解決しようと動き、強い人だと思った。自分も真剣に考えなければいけないと考えた。 	<p><タイプ6></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「努力は裏切らない。ただし、長い目で見ればという言葉が隠れている」という名言がとても深いと思った。「一流になった者だけがいう事を許される」「他に真似できない芸を持つものが一流である。」など、一流に関する名言も印象的だった。 ・世の中を良くするために生涯闘った人の言葉は胸に刺さった。一流の人間の言葉は心に響くものが多い。 ・棋士の言葉がとても深い。続けることの大切さを学んだ。 ・「2足のわらじ」は偉人だけの話ではなく、私達にも必要だと思った。一人の女性が国を変えたということに感動した。 ・本日の講義で取り上げた人物たちを今のテレビなどにもっと出してほしい。原敬が気になった。原敬記念館も興味を持った。 ・牧野富太郎のように一つのことに熱中しているとこんなすごい人になれるのかと感じた。 ・原敬は19歳から死ぬまで日記を書き続けた。凄い。
<p><タイプ2></p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの研究をしているからこそ、偉人になれると思った。 ・若い時代、特に20代がとても大事な年代だということはよく分かっている。若い時の出来事があるの一生を左右するという名言を聞いて、今の経験の大事さが身に染みした。 ・自分を上げるためには人を感動させるものを見つけるのが大切だと思った。少し昔の人すぎて頭に入りにくかった。 ・棋士の言葉が面白かった。「私に才能があるとしたら、折れない心です。」という言葉が胸に残った。 ・牧野富太郎は学を修めていないにもかかわらず、今に残る行動をしていることがすごいと思った。なぜそこまでがんばれたのか気になった。 	<p><タイプ5></p> <ul style="list-style-type: none"> ・池波正太郎や牧野富太郎をはじめとして、学校以外にも大切な事は別があり、それらのものを最後までやり続けることが成功を収める上で重要であると感じた。 ・経験はプラスにもなるが、マイナスになることもある。一度見てしまうと純粋な目で見られなくなってしまうのではないかと思った。 ・「努力は裏切らない」という言葉があるが、これは真実だ。ただし、「長い目で見ると」という一言が言葉の裏に潜んでいることを知っておかなければならない。」という瀬川晶司さんの言葉に感動した。 ・みなすごく良いことを言っていた。 ・原敬がすごいと思った。 ・今回学んだことは持続すること。偉人みんな志を持っていて、それを持続させていた。 ・牧野富太郎の標本館に行ってみよう。 ・偉い人は必ず、必に核、自分を持っていることが分かった。大山康晴さんの「一時を求めるより、長く続けることが大切」という言葉は気づかされるものがあった。 	<p><タイプ7></p> <ul style="list-style-type: none"> ・挫折した時、困ったときにどうすればよいか参考になる人を紹介してほしい。 ・宮城まり子は「ねむの木学園」を開催して世の為になった人だと確信した。 ・八尋俊邦の「大事なことは自分の持ち場を徹底的に勉強してプロになることだ」は調べてみようと思った。原敬の日記を40年以上続けていたことに驚き、僅かな時間を一時も無駄にせず活用し続けた結果、日本近代史上で最も優れた政治家になったのだろうと思った。 ・興味が無いと感じるとすぐに飽きてしまう性格なので、何か一つでも続けられることを持ちたい。金メダルに「強い意志・汗・ガッツ」が含まれているという見方も知り、感動した。 ・自分を肯定し生きて行きたいと思う。棋士の「前進できない駒はない」はなるほどと思った。牧野富太郎や池波正太郎のように、学歴を気にせず「自分はこれだ」と言えるものに生涯を捧げる生き方は私にとって衝撃的だった。 ・今じゃ考えられないが、小学校中退で学歴がなく努力して現在まで名前が残っているのは凄いなと思った。
<p><タイプ4></p> <ul style="list-style-type: none"> ・将棋の方の言葉の中で「努力は裏切らない。ただし長い目で見る」という一言が言葉の裏に潜んでいることを知っておかなければならない。」という言葉が心に響いた。 ・原敬は、歴代で最も偉大な政治家だったと実感した。 		

<タイプ8>

- ・棋士の言葉を映像で見ていると、強気の人もいれば、守りの言葉の人もいて、その人が攻める人かどうかなど分かって面白かった。言葉には、その人の人生が分かるような気がした。
- ・こういう授業は珍しいので良いと思った。
- ・何で、左翼の政治家を紹介しないのですか？
- ・色々な名言があるので、同じ内容の意味の名言があるかもしれないと思った。
- ・心に残ったのは、羽生さんの言葉です。将棋の名人の言葉は、他の人の言葉よりも深いように感じます。
- ・名言を聞いたたびに頑張ろうと思えるので、この講義はとてもよいものになっている。
- ・藤沢周平さんの「普通の生活を続けて行くことの方が、よっぽど難しい事なんだよ」という言葉が心に残った。とても深いと思えた。
- ・東京駅での暗殺が多いのは知っていたが、今でも歴史の足跡が残っているとは知らなかった。人が死んだ場所なのに観光地のように残すのはどうかと思う。
- ・池波正太郎の、13の時から今まで何度も仕事を変えたが嫌な仕事は一度もしたことがない。というのは、私の人生の理想である。素晴らしいと思う。

<タイプ?>

- ・羽仁もと子さんの言葉が心に響いた。「けむりのように消えてしまうお金の足跡がつかめます。この家計簿をつけると暮らしの予算が立てられ、明日が見えてきます。」
- ・心に残ったのは「暗夜を憂いることなかれ」という言葉だった。
- ・棋士たちの言葉は心に残った。
- ・自分にはない新しい考え方を知ることができた。
- ・池波正太郎さんの言葉が心に残った。
- ・昔の偉人たちは現在の人より、ものすごくストイックだと感じた。
- ・東京駅に刺殺の歴史が多い事は驚いた。

<タイプ9>

- ・市川房江さんの世の中を変えるため動く姿勢は美しいと思った。
- ・プロの将棋士の名言は、他の名言と比べて非常に奥が深いものがあると感じた。
- ・名言にはいろいろなものがあると改めて思った。一つ一つが深いと感じた。
- ・池波正太郎の学歴に驚いた。記念館もありすごいと思う。
- ・大山康晴さんの「人が真似できない芸を持つことが一流の条件である」と聞いて、私も他人にあまり真似できないことを武器にしたいと思った。
- ・私は南大沢に住んでいるので、首都大学東京へ行き、牧野標本館に行ってみようと思った。
- ・また新たな偉人の名言を発見できてよかった。
- ・棋士たちの名言が面白かった。将棋の中から学べる人生観があると思った。池波正太郎さんの食に関する言葉は、毎日あたりまえの様に食べている食べ物の大切さを改めて感じさせる力があると思った。
- ・村野四郎さんの鉄棒という詩がとても好きになった。
- ・ジャッキーロビンソンの言葉が印象に残った。私も一流とまではいなくても上を目指したいと思った。牧野富太郎の約10年間植物を研究したのはすごいと感じた。また、小学校を卒業していないのに、歴史に名を残している点も驚いた。私も何かに打ち込めるものを見つけたい。
- ・池波正太郎は病気になりながらも本を書き続け、母の看病までしていた。自分は1つのことしかできないので、2つのことを両立できるよう努力したい。
- ・将棋士名言集にあった、羽生名人7冠達成についての反応で「棋士として屈辱でしかない」と残した人がいた。その潔さと悔しさがにじみでてくるものが何かに惹かれた。

<タイプ?>

- ・知らない名言がたくさんあると思った。
- ・今回もとても良かった。人生にささるような名言ばかりだった。芸人の名言集などもあると面白いと思います。左がうるさかったが右側も少しうるさかった。注意をお願いします。
- ・改めて「続ける」ということの重要さを感じた。「継続は力なり」という言葉がありますが、まさにその通りだと思う。
- ・原敬が印象的だった。
- ・東京駅に知らない名所が多いことを知った。
- ・東京駅に歴代の総理大臣がうたれた場所あってびっくりした。
- ・通っていた高校は羽生名人の母校だった。そこでもよくお話を耳にしていたがまさか大学でもその名前を聞くとは思っていませんでした。中原誠さんの、「前進できない駒はないんだ」良いと思った。
- ・藤沢周平の言葉「一人の平凡な人間もドラマを持っている。こういう人に興味を惹かれる」という言葉が心に残った。
- ・今勉強を頑張れば、壮年になってから楽。本当にその通りだと思う。
- ・目標の人物を持つだけでなく、その人物を超えと思わなくては意味がないと思った。
- ・友人や先生の言葉により耳を傾けて、自分のため誰かの為に語れるようなおじいちゃんになれたらいいと思う。
- ・自分も名言が好きで、良く調べている。
- ・やはりまんべんなくやる人より、極めた人の方が歴史にのこる。
- ・偉い人は、名前を音読みで呼ぶとはしなかった。
- ・都立中央図書館を訪問し、人物関係の資料をあつたら、伝記が多い人でも10冊だったが、福沢諭吉は3段もあつたので驚いた。
- ・牧野富太郎さんの話を聞いて、生半可で何もかも終わらせず、やるならとことんやろうという気になった。
- ・牧野富太郎は学校に行かなかった分一つのことに集中してこれたのではないかと思う。学校へ行けば余計な知識をつけることになるからだ。
- ・羽仁もと子が、フリーマーケットを作った人と聞いて驚いた。
- ・市川房江に感銘を受けた。「婦選は鍵なり」という彼女の遺した言葉は彼女が生涯をかけた婦人運動が日本の真の民主主義であることを表し、彼女の一生を貫いた志だと思う。